板橋産連 news ニュース

発行者： 一般社団法人　板橋産業連合会／板橋区板橋 1-48-11
ロジエビルNo.3　2階
☎03-3962-0131/ホームページ URL：https://itabashisanren.org

令和６年
２０２４年
１月１日 元旦
第１２６８号

迎春

一般社団法人板橋産業連合会

令和６年　年頭のご挨拶
～新しい革袋に何を盛るか～

一般社団法人板橋産業連合会
会長　大　島　隆　夫

2024年の新春を迎え、会員の皆様におかれましては、穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

列島の空を覆いつくすように続いた猛暑など、昨年も相変わらず異常気象に明け暮れた一年でした。農・漁業に深刻な影響が及ばないか心配が募ります。とはいえ遠望する富士山は、例年と同じように純白のストールを纏った姿を見せており、新年らしく心安らぐひと時を迎えることができました。

さて、一昨年の９月に着手した新会館建設工事は、関係者のご尽力により、まもなく竣工の時を迎えようとしています。建設計画が俎上に上がる端緒となった、会館の経年劣化という根本的な課題に関しては、竣工によって所期の目的を100%叶えたことになります。しかし、前例のない大型投資に踏み切った産業連合会にとって、新会館竣工の意義を建物の更新だけに止めてしまっては、将来に禍根を残すことになってしまいます。

人工物が次第に朽ちていくように、組織も適時に手を打たなければ劣化が進んでいきます。ただ一つ異なるのは、人工物の劣化は目に見えるのに対し、組織の劣化は水面下で緩やかに進み、大概において気づくのが遅れてしまうことです。

翻って産業連合会の現状はどうでしょう。諸先輩方が会を立ち上げた当時の熱意や志は継承されているでしょうか。歴史がある故に本来手を打つべき課題に気づかず、知らぬ間に会の目的や魅力を見失ってはいないでしょうか。本年はそれらの気づきの共有を基に、「真新しい革袋」に盛るにふさわしい組織体制とするべく、各世代の皆様の声をお聴かせ戴きながら、運営の在り方を真摯に見直していきたいと考えています。

新年を迎え、産業連合会が会員の皆様にとって真に魅力ある団体になるために、これまで以上のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げるとともに、各企業様の益々のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

新年挨拶

板橋区長　**坂本　健**

～産業文化都市いたばしの
持続的な発展に向けて～

令和６年の年明けにあたり、日頃より板橋区政に深いご理解とご協力を賜っております板橋産業連合会の皆様に、厚く御礼を申し上げるとともに、謹んで新年のご挨拶をさせていただきます。

日本国内では、昨年５月８日から、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが５類に引き下げられ、新たなフェーズを迎えました。一方で、皆様におかれましては、長引く物価・エネルギー価格の高騰、円安など厳しい局面の連続であったことと存じます。

このような状況の中で、貴会事業者の皆様が自社技術の強化や新製品開発、事業再構築に取り組まれ、成果を上げられてきたことに敬意を表します。

板橋区では、「経営安定化特別融資」やそれに伴う信用保証料補助をはじめ、デジタル地域通貨「いたばしPay」による活性化支援、「エネルギー価格高騰対策設備更新支援事業」などを実施し、また、（公財）板橋区産業振興公社では、「デジタル環境構築補助金」や専門家による「無料訪問相談事業」などを実施してきました。

引き続き区内産業の活性化のため、貴会のご協力をお願い申し上げるとともに、板橋産業連合会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

池袋労働基準監督署

署長　**高橋　和彦**

新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

一般社団法人板橋産業連合会並びに会員企業の皆様には、労働基準行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルスに係る様々な制約から解放され明るい兆しが見え始めたところですが、一方では、原材料価格の高止まりや円安問題など、企業経営を取り巻く環境は厳しく、ご苦労が多かったものと思います。

私ども労働基準行政を推進する立場としては、皆様方が直面する労務管理、安全衛生管理に関する諸問題に対し、引き続き丁寧な説明を心掛け、お役に立てればと考えております。

本年が皆様方にとりまして幸多き年となりますことを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

池袋公共職業安定所

所長　**山本　貴彦**

新年明けましておめでとうございます。

板橋産業連合会並びに会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び上げます。旧年中は、当所の業務運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年の労働行政における重点施策は、「構造的な賃上げ」と「人への投資（リスキリング）」になります。ハローワークにおいて企業の皆様にご支援できる主なものでは、パートタイム労働者が「年収の壁」を意識せず働くことのできる環境整備に対しての「キャリアアップ助成金（社会保険適用時処遇改善コース）」や、労働者のリスキリング支援に対しての「人材開発支援助成金」となります。是非これらの助成金をご活用いただくようお願いいたします。

結びに、板橋産業連合会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝ご繁栄を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

《《《 ●●● 板橋産連ビジネス英語講座参加者募集（後半コース） ●●● 》》》

１２月より実施しておりますビジネス英語講座の後半コースを２月８日より全６回で開催いたします。後半から初めての方でもご参加いただける内容となっております。前半に引き続きご参加いただく場合も大歓迎です。メールで海外とやり取りが多い方やスキルアップされたい方など多くの方のご参加をお待ちしております。今回は前半コースと同様、英語のChatGPTについて活用方法等についても触れていきます。

資料同封

◇ 募集クラス　基礎クラス　開催時間：１８：３０～１９：４０
　　中級クラス　開催時間：１９：５０～２１：００
◇ 開　催　日　令和６年２月8日（木）～令和６年３月１４日（木）　毎週木曜日、全６回講習
◇ 開 催 方 法　会場及びオンライン（ZOOM）のハイブリッド開催
◇ 定　　員　会場：若干名（先着順）、オンライン：２０名程度（先着順）
◇ 会　　場　板橋産業連合会仮事務所内
◇ 費　　用　会 員：無　料　、　一　般：２，０００円
◇ 講　　師　㈱マックスR　二宮 雅規氏

《《《 ●●● 板橋産連ものづくり講座 ●●● 》》》

１２月、１月に開催の３DCAD講座に引き続き、２月より３週連続でモノづくり講座「３DCADCAM切削加工研修」を開催いたします。
Fusion360の３DCADCAMの使用方法の学習し、２Dおよび３Dの加工プログラム作成を行います。研修では実機（卓上機）によるデモンストレーションを行い加工の様子を確認していただきます。事業場で３DCADCAMが必要になった方や導入をご検討されている方はぜひご参加下さい。

資料同封

◇ 開　催　日　令和６年２月19日（月）～21日（水）、2月26日（月）～28日（水）、
　　３月４日（月）～６日（水）の３週連続研修
◇ 定　　員　会場：１０名（先着順）
◇ 使用ソフト　AUTODSEK Fusion360
◇ 参 加 資 格　会員企業にお勤めの方
◇ 会　　場　板橋産業連合会仮事務所内
◇ 費　　用　無　料
◇ 講　　師　株式会社マクロス　専任講師

《《《 ●●● 経営支援セミナー開催予告 ●●● 》》》

板橋産業連合会では２月に経営支援セミナーとして「2024年労働関連法改正直前対策セミナー（仮題）」を開催いたします。
※　詳細につきましては同封のチラシ又はホームページにてご確認ください。

資料同封

◇ 開 催 形 態　会場とオンラインのハイブリッド開催
◇ 会　　場　板橋産業連合会仮事務所内
◇ 費　　用　無　料
◇ 定　　員　会場：若干名（先着順）、オンライン：２０名程度（先着順）

『産連ニュース新年特別企画　「令和５年度 板橋製品技術大賞」産業連合会賞受賞
株式会社ルケオ　代表取締役社長・吉村健太郎さんインタビュー　～製造業にかける夢～

大島会長（以下、大島）：吉村社長は今年年男なんですね。とてもお若い社長さんなんですが、会社を引き継がれたときはどんな感じだったんですか。

吉村社長（以下、吉村さん）：当初は父がサポートしてくれていたので、気負いはなかったんですが、周りからの認識が変わったなと実感したのは、銀行の方々が会長ではなく私の方を向いてくださることが多くなってからですかね。「ああ、こういうもんなんだな」と、そこが一番感じたところですね。

大島：昨年秋に板橋製品技術大賞の優秀賞（産業連合会賞）を受賞されましたが、受賞時の感想はいかがでしたか。

吉村さん：そうですね。板橋製品技術大賞は毎年度応募するようにしていて、技術開発部を中心に、出品するからにはいいものを出したいよね、という感じで応募しています。今回は久しぶりに上位の賞をいただいたのですごく感激しています。この賞は賞金もいただけるのですが、先日、全社員が集まる機会があって、そこでこの賞金は「みんなで使うよ」といったところ、みんな拍手喝采で大盛り上がりでした。受賞の喜びを社員と分かち合えるので、すごくいい機会になっています。

弊社はすごくニッチなところで仕事をしているので、そこにしか生き延びる方法はないんじゃないかな、というのが正直あるんですね。なので常に開発を継続していかなければいけなくて、開発のネタがないなんてことになれば不安になりますし、お客様がどんなものを求めているかというのはとても気になります。

開発に着手して新商品が生まれるまでというのは、試作品が出来上がって、お客様に見ていただいて、手直ししてを繰り返していくのですが、試作の段階で機能の追加の要望が出たりして、正直リリースまでには時間がかかります。

大島：受賞製品には、技術陣が持つノウハウや知見が集約されていているように思いますが。

吉村さん：もちろんそれもありますが、技術開発部だけでやってしまうと、視野が狭くなって偏りが出てきてしまうことがあります。それを防ぐために最近は営業や生産管理など、他部署の社員を巻き込んで意見交換しながら進めるようにしています。まあ、計画どおりには進みませんが。

大島：御社はこの賞だけでなく、行政主催の事業に次々とエントリーして、たくさんの賞や成果物を手に入れています。どうしたらこういう結果が得られるのでしょうか。

吉村さん：弊社には「働きやすい職場から お客様のニーズに合った製品を積極的に生み出し 社会に貢献する」という企業理念があります。ある時「働きやすい職場」とはどんな職場なのか、社員全員に聞いてみたところ、それぞれ言うことが違っていて、じゃあ働きやすい職場っていうのは一つではなく、みんなで作っていくものなんじゃないかと思ったんです。

ただ、社長主導で意見を聞いてしまうと、無言のバイアスがかかって忖度してしまうと思い、アンケートづくりから集計まで社員にお願いし、結果を私に報告してもらう形にしたんです。その時の社員の意見の中から、取り組めるものから始めてみようと。そうしたタイミングで、板橋区から新しい賞がスタートするのでと声を掛けていただきチャレンジした感じです。

BCP（事業継続計画）やSDGsの事業に関して言えば、概要を知ったときに、これはいずれお客様から取り組みを求められるようになるんじゃないかと思ったところから始まっています。BCPの方は私一人では手に負えない気がしたので、社員にも一緒にやってもらうことにしたんですが、板橋区産業振興公社に無料で作成支援をしてくれる事業があったので、社員と一緒にコーディネーターから教えてもらいながらやっていたら計画書ができたという感じです。

SDGsもBCPと同じで、企業として対応しなければだめだろうなとは思ったのですが、難しそうだなというのが最初の印象でした。そんな時、社員のお子さんが通う学校で配られたSDGsを説明した冊子があるというので、見せてもらったところ、私や社員が知らないことがとても分かりやすく書かれていたんですね。ちょうどそこに板橋区でセミナーをやるっていうのを聞きつけ、すぐに飛びついたって感じです。

こんな形で社員と一緒に意識づけを行いながら続けら

れたのは良かったなと思っています。

大島：お話を伺うと、企業理念を生かして社長も社員さんも分け隔てなく、本当に一丸となっているんだなあと感じますが、ご自身はどう感じていらっしゃるのでしょうか。

吉村さん：きっと社員も私が頼りないので助けてくれているんだと思うんですけど。(笑)

実際、社員みんなの意見を聞いた方が思いもつかない考えが出てくるんですよ。「じゃあ、それでいこう」って。私が判断しなくてもちゃんと会社がまわるように感じています。社員と一緒に情報共有しながら続けてきたっていうのが良かったなと思っています。

ルケオに入社した当初は製品についての知識もなく、よそ者といった感じで、社員との間に壁というか隙間を感じ、孤独感をもった時もあります。ある時これではいけないと思って、社員の話をできるだけ聞こうと。そうしたら徐々に意見を言ってくれるようになって。話し合いながら進めていくことが一番だということに辿り着いて、今までやっているという感じです。

大島：信頼関係が次第に醸成されていったということですね。

よく製造業の未来に夢がないと言われますが、それについてはどうお考えですか。

吉村さん：最近私が常々言っているのは、「せっかくなら日本一働きやすい職場をめざそうよ」、「世界でオンリーワンの製品を持とうよ」ってことです。夢を大きく持って発信し続けていれば、少しはそれに近づけるのかなっていうのがあります。

今、中小製造業は二重苦、三重苦みたいな感じになっていて、国内では生きづらくなっているのも事実です。そうは言っても日本のものづくりってやっぱりすごいな、世界一なんじゃないかなって思っているんですけど、海外に出ていった工場がいっぱいありますよね。その中の一部が戻ってきてくれれば、雇用も生まれるし部品などの自給率なんかも上がって、ものづくりが盛り上がらないまでも維持していけるんじゃないかなと思っています。そこをまた世界から評価されて、適正な対価を得ながら輸出が増えるような循環ができるといいなと思っています。そうなれば、若い人たちにものづくりっていいよねと思ってもらえるし。そういう仕組みづくりができれば嬉しいなって思ってます。

大島：国は働き方に関して大手並みを要求してきます。これについてはいかがですか。

吉村さん：弊社では労務に関することは、まず社員の話しを聴くようにしています。とくに一緒に頑張ってくれている課長クラスの社員に本音を聞いてみて、調整していくみたいな感じですね。

弊社の場合、製品づくりはほとんど人手で、ラインのスピードに合わせて仕事をすることがないので、工夫の仕方で生産性を上げる余地があるのではないかと思っています。

今、弊社では「完全週休３日をめざそうよ」、しかも「給料も上げていこうよ」って言ってるんです。夢を大きく持とうという趣旨なんですが、ちょっと先走って言ってしまったんですよ。(笑)。

元々考えていたのですが、賞に応募する際のヒアリングで審査委員の方から「何か今お考えのことはないですか」と聞かれ、「週休３日をめざします」って言っちゃたんですね。

さらに賞をいただいた時のインタビューでも同じように答えてしまって、もう後戻りできなくなったというのが正直なところです。(笑)

ただ、実際に可能性を感じたことがあって、コロナ禍で仕事がなくなった時に、雇用調整助成金をいただいて金曜日を稼働しないことにしたんです。少し仕事が戻ってきた時も、もうひと頑張りすればいけるんじゃないかと心の中で思ったんですよ。社員もだんだん3連休に慣れてきて、工程を工夫して納期に間に合わせられるようになったんですね。

目的とか目標があると想像以上の力が出るんだなと。これを突き詰めていけば、もしかしたら週４で仕事がまわるんじゃないかと思ったりもしました。今現在は週5でやっていますが、週休３日の試行みたいな形で、仕事の様子を見ながら余裕がありそうなときはグループで話し合いながらシフトを組んで、ちゃんと給料も出して一日休んでもらうってことをやっています。そうするとみんな真剣にやってくれて、効率も上がるってことがわかったんです。これを突き詰めていって、休みが多くて給料もそこそこであれば、退職者も出ず入社してくれる人も増えるんじゃないかって妄想しちゃうんですよ。今、そういうチャレンジをしているところです。

なんとなくスタートはうまくいってる気がしますが、完全週休３日となると資金繰りにもかかわってくるので、本当にしっかりやらないと実現はまだ難しいですが、社員は目標の実現に向けて頑張ってくれそうな気がしています。

大島：すばらしい取り組みですね。企業理念ともシンクロしている感じですが、企業理念に込めた思いやこだわりがあればお聞かせください。

吉村さん：「働きやすい職場から…」という企業理念は親父が作ったものなんですけれど、私自身すごく気に入っていて、何か困ったことがあれば、企業理念に立ち返れるようにして、それを社員と共有していけるように意識しています。ただ、労務関連法令はじめ、社会環境や社員の考えがどんどん変わっている中で、言葉としては変わらなくても、捉え方が変わってきたりするので、小さな再定義を繰り返しながら対応してやっています。

日々の仕事に対応する中で、お客様が希望するニーズから外れてしまいそうなときもありますが、そういったときには企業理念を活用して、ブレがないか確認するようにしています。

大島：「初心忘れるべからず」に通じるようですね。

最後に、産業連合会など多くの団体では、環境の変化に対応できずに組織の先細りが懸念されています。一方で、区内企業の多くで世代交代が進んでいるのも確かです。我々ももっと現役世代の経営者の声を聴いていく必要があると思っています。

産業連合会は産業振興の旗を振る経済産業省との関係ではなく、どちらかというと雇用や労務を所管する厚生労働省の施策を受けて動くような団体なんですね、本来は。

労働法令などがどんどん改正されて、事業者の皆さんが対応に苦労している中で、若手の経営者としてどんな考えをお持ちなのかお聞かせください。

吉村さん：地域の企業が集まれる場というのは、今後むしろ大事になってくるように思います。

板橋区内からどんどん企業が消えていき、当社の工場のまわりも住宅街になってしまっています。それでも区内にはいい会社が多いと思っていて、そういう企業の経営者が集まって、横の連携ができて情報交換したり、仕事を紹介しあったり、さらに言えば新しいものが生まれる可能性があるという場所は、ないよりはあった方が絶対にいいと思います。

労働基準監督署などの行政機関なんかも、普段はなかなか敷居が高く感じてしまうところですが、団体に加盟していることで接点が得られ、最新の労働行政の動向にいち早く触れられるのは、意味があることではないかと思います。

雇用、労務、環境などの課題にどう取り組んでいくかという点でも、同じ経営者の立場で話し合える場っていうのも意義があると思います。

大島：今おっしゃられたようなことは、会員の皆さんもわかっているだろうと考えていたんですが、どうも浸透していない。実際に話をしてみると、どうも産業連合会に対する意識が違うってことに気づいて、最近では理事会のたびに産業連合会の意義とはみたいな話をしています。

企業である以上、利益をどう上げるかとか財務とかも大事ですが、労務の知識などをもうちょっと強化して、少しずつ関心を持ってくれる人が増えれば、雇用や人材不足の問題の解決につながり、区内産業が活性化していくんじゃないかと思っています。

吉村さん：想像ですが、歴史のある産業連合会の場合は、創業者が会に入っていて、後継者に移譲するときに、多分皆さん「産業連合会にいきなさい」とだけ言われ、会の目的をうまく伝えられていないので、交流する目的重視で参加しているみたいなところがあるのではないかと思います。他の会でも感じることがありますが、会が立ち上がった頃の目的を知り、認識すれば、メンバーの目的意識も自ずと高まっていくのではないかと思います。

大島：私どもとしては、初心を忘れずに労働行政のことなどを皆さんにしっかりお伝えしていき、1年後2年後はこうなりますよと、互いに情報をキャッチボールできるような会にしていくことが必要なんだと再認識しました。

今日は良い話をお聴きすることができました。ありがとうございました。

休日は4匹のポメラニアンの散歩が日課という吉村さん。多忙な中、お見かけしたとおり、真摯に優しい語り口でインタビューに答えていただきました。ありがとうございました。

板橋産業連合会事務局

_/_/_/ 新産連会館上階の賃貸住宅「ウェスタ板橋仲宿」会員企業様先行案内 _/_/_/

資料同封

ウエスタ板橋仲宿 For Rent

WESTA Itabashi Nakajuku

都営三田線「板橋区役所前」駅 徒歩6分
都営三田線「板橋本町」駅 徒歩8分

インターネット無料　システムキッチン

ウエスタ板橋仲宿で叶える、
ワンランク上の快適生活。

順次公開予定

- 会員企業様、同社員の皆様に向けた募集開始の情報です。
  （右上のQRコードはサンプルです。webサイト公開は2024年１月９日の予定です。公開後のwebサイトは産連ホームページでご案内します。）
- 会員の皆様で入居希望など詳細をお尋ねになる場合は、同封チラシ掲載の問合せ先ではなく、産連事務局にご連絡ください。担当者におつなぎします。
- 本物件は三井不動産レジデンシャルリース社に管理委託しています。

ウェスタ（Vesta）とは、ローマ神話で竈の女神のこと

《《《 ●●● 東京工業団体連合会 中堅社員・新人社員対象セミナー ●●● 》》》

〈一般社団法人東京工業団体連合会主催　板橋産業連合会など33地域団体共催〉

資料２種同封

- 「リーダー育成研修」
- 開催日時：２月27日（火）９：30～17：00
- 定　　員：30名（定員になり次第締め切り）
- 参 加 費：お一人 3,000円

- 新人社員対象「ビジネスマナー研修」
- 開催日時：４月２日（火）・４月３日（水）９：30～17：00
- 定　　員：30名（定員になり次第締め切り）
- 参 加 費：お一人 8,000円

セミナーの内容・応募方法等詳細は同封のご案内パンフレットをご覧ください。

理事会などの活動報告

● **専門委員会**

総務委員会

開催日：12月5日　15：15～　　支部再編と定款について検討した。

厚生委員会

開催日：12月5日　16：30～　　1、2月にスポーツ大会のアンケートを実施する。

事業委員会

開催日：12月6日　16：30～　　セミナーを含む各種事業について検討した。

● **12月理事会**

開催日：12月20日　17：00～　定例報告、予算執行状況報告及び専門委員会報告を行った。

今後の主な予定

開催日	行　事	備　考
1月15日～	3DCAD講座（基礎、応用）	産連仮事務所内 各3日間
1月18日	板橋産連新年賀詞交歓会	区立文化会館 4階大会議室
2月8日～	ビジネス英語講座（後半コース）	ハイブリッド開催 全6日間
2月19日～	ものづくり講座　～ 3DCADCAM切削加工研修 ～	産連仮事務所内 全9日間
2月22日	令和5年度　第2回定期・特殊健康診断	区立グリーンホール 1階

謹賀新年

新春を迎え会員企業の皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます

2024年　元旦

一般社団法人板橋産業連合会

会　長　大島隆夫　(株)三星光機製作所
副会長　鈴木　孝　(株)シントク
副会長　豊城勇一　丸豊工業(株)
副会長　高田修一　(株)むさし商事
副会長　荒木秀幸　みすゞ興業(株)
副会長　富安昌宏　日本金属(株)
副会長　高林　格　理研計器(株)

《板橋産連ニュースは、板橋区中小企業活性化事業補助金を活用して発行しています。》